



～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

「なぜ学ぶのか」⇒夢・志をもつ子供たちの育成を

「なぜ学ぶのか」未来の指針

■3年 多田彩華

「私たちはなぜ学ぶのか」。こんなことを考えたことはなからうか。私はある。高校卒業後の進路を選ぶ時、私は進学する道を選んだ。けれど大きな目的もなく、ただ何となく進学した方が響きが良いからとか進学した方が将来給料が高くなるからとかの正直くだらない理由だけで決めた。しかし、どの学部や学科、どの学校へ進学しようか考えた時に自分はどの目的を持って学校へ進学するのかを一切考えていなかったから、学校や学部を決められなかった。その時に「なぜ学ぶのか」と考えた。小学生の頃から学ぶことは当たり前だったから考えたこともなかったが、今となればもう当たり前の話ではないことを痛感した。それと同じに自分の進路ともう一度向き合ってみた。

今の私は留学に向けて語学や他国の伝統文化を学んでいる。あの時、「なぜ学ぶのか」を考えなければこの進路を選ぶことはなかっただろう。「私は普通の人材になりたくない。普通の人でもできるようなことを社会は求めていないと思うからだ。ならば非凡な人材にならねばならない。だから海外で学びたい」という結果にたどり着いた。「学ぶことに理由なんて必要ない」と昔言われたことがあったが、私はそうは思わない。学ぶ理由は人それぞれ違うかもしれないけれど、理由があるから目標ができて、未来が創れると私は思う。今の私がそうであるから。「なぜ学ぶのか」。ぜひ考えてみてはいかがですか。

紙面編集・小松大地

2023.3.23 山形新聞オピニオン若者の声より

「なぜ学ぶのか」。大人にとっても難しいテーマに触れたいと思います。

昨年度の全国学力・学習状況調査の結果の課題から、本市の児童生徒について「家庭学習はしているものの学習時間が短い傾向にある」「ゲームや SNS にかける時間が多い傾向にある」ことが、本市の課題として浮かび上がってきました。

もちろん、「長時間、学習すればそれでいい」「ゲームや SNS を見ないほうがいい」ということではありません。しかし、「自分の人生を切り拓いていく（夢・志）ために、1日1日を大切に過ごしてほしい（自己管理）」と思うのです。

尾花沢市教育委員会では、これらの課題を解消すべく、今年度より「尾花沢こども未来 PLAN」を実施しています。その中から、今号では「夢・志教育」を紹介します。

「夢・志教育」は、「ふるさと愛の醸成」と「キャリア教育の充実」を軸に、「何のために学ぶのか」を深く考えるきっかけとなるものと位置付けています。

「ふるさと愛の醸成」については、これまで各校で実施してきた地域学習を充実させつつ、新たに「F-Tスクール（地域学習）」を通して、自分の地域以外のよさにも触れる機会を設定し、地域とつながるのみならず地域に貢献できる人材の育成を目指します。

「キャリア教育の充実」については、各校での「先輩から学ぶキャリア教育」を支援します。既に、尾花沢市ふるさと大使であるあべ美佳さんの講演会が福原中学校で6月2日（金）に予定されています。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
 教育指導室長 工藤 雅史
 TEL 23-3330